

# うめきたを含む大阪駅周辺地域の まちづくりについて

# ① 大阪駅周辺地域の現状

## 大阪駅周辺地域の開発状況

① ノースゲートビルディング



② サウスゲートビルディング



③ 中央郵便局建替



④ ブリーゼタワー ⑤ ハービスエント



⑥ うめきた先行開発区域  
(グランフロント大阪)



⑦ 茶屋町地区市街地再開発  
(NU Chayamachi・NU Chayamachi プラス)



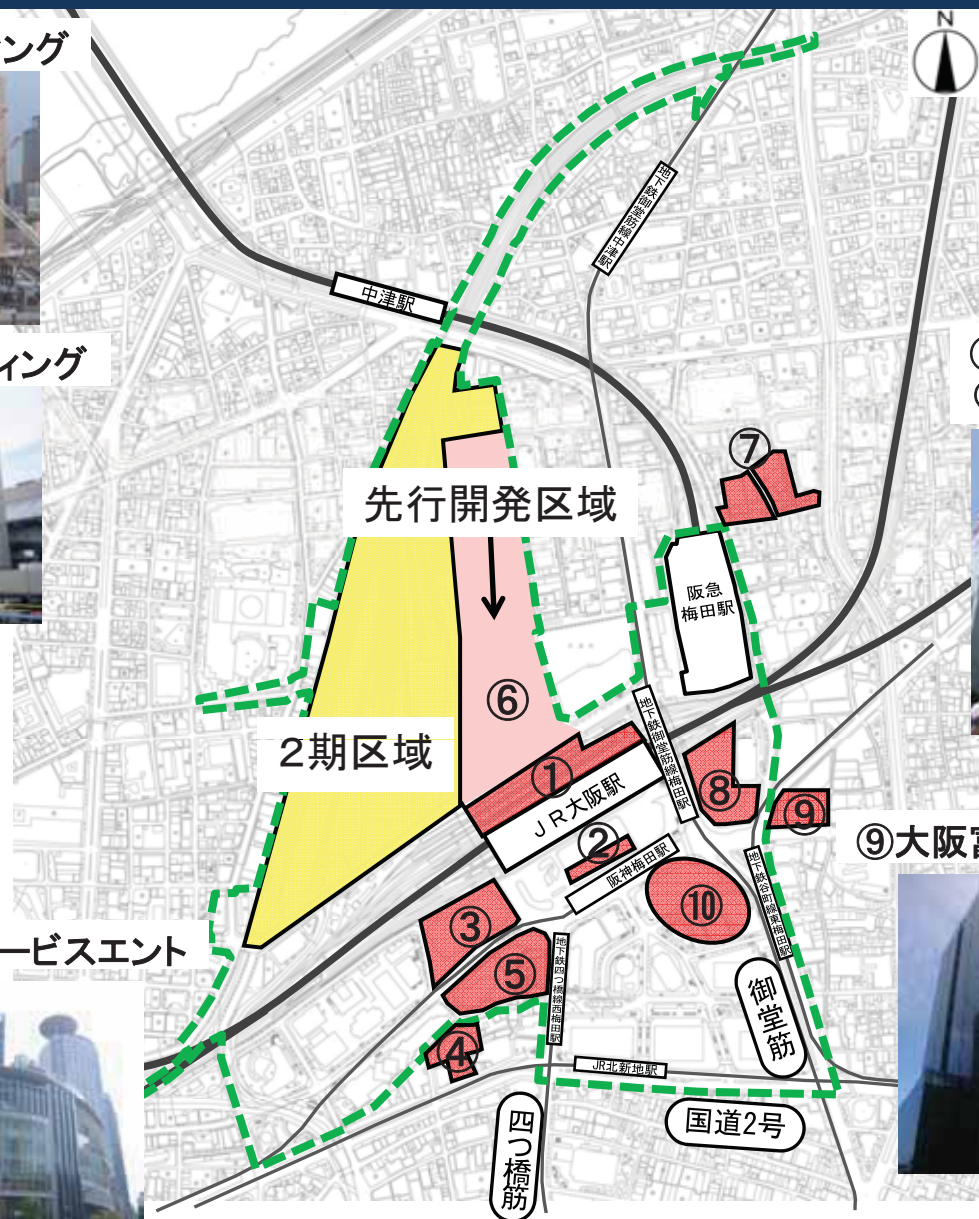
⑧ 阪急百貨店建替



⑨ 大阪富国生命ビル建替



⑩ 大阪神ビル建替・  
新阪急ビル建替構想

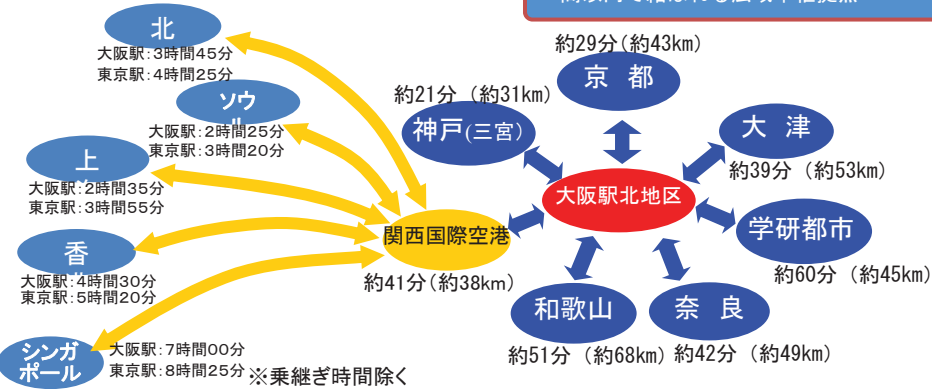


## ②-1 うめきた地域の経過

# 「大阪駅北地区まちづくり基本計画(H16.7)」

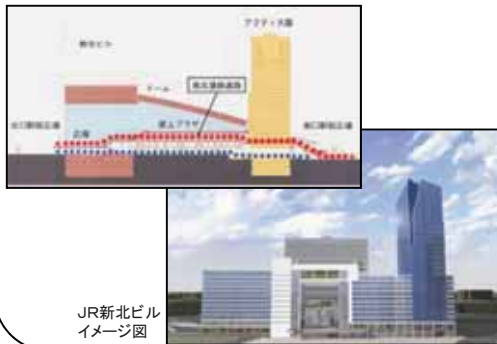
### 世界につながる

JR東海道線支線の地下化や新駅設置を図ることにより、関西国際空港とのアクセスを強化し、東アジア経済圏との交流に対する優位性を確保



### 梅田を広げる

JR大阪駅の改良計画とも連携し、周辺の開発拠点相互のネットワーク化を図り、大阪駅周辺の歩行者動線の回遊性・連続性を向上



### 関西の広域中枢拠点

都市間鉄道により、関西主要都市と1時間以内で結ばれる広域中枢拠点

### 「知」の結節点

関西に分布・集積する大学・研究機関や産業拠点等と結び、新産業・新技術の創出や情報発信を図る



### 《まちづくりの5つ柱》

#### 世界に誇るゲートウェイづくり

- アジア・世界へのゲートウェイをめざした国際的拠点としての機能強化と空間形成
  - ・JR東海道線支線地下化・新駅設置による関西国際空港とのアクセス利便性の向上など、広域交通ターミナル機能の充実
  - ・関西・大阪圏の玄関口として象徴的で風格のある駅前空間の創出
  - ・国際的なビジネス拠点の形成 など

#### 賑わいとふれあいのまちづくり

- 人々がまちに集い、賑わい、ふれあい、まちでの活動を楽しむことができるまちづくり、歩行者主体の空間形成
  - ・賑わい軸における華やかで賑わいある空間の創出
  - ・賑わいネットワークなどによる回遊性の高い歩行者動線ネットワークの形成
  - ・人々の交流と賑わいの場を提供する都市機能の集積 など

#### 知的創造活動の拠点(ナレッジ・キャピタル)づくり

- 新しい産業・技術・文化・価値を生み出し、関西から世界へ発信する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成
  - ・関西のシーズと世界の人材・知識の交流の場
  - ・人の交流による新技術・産業・価値の創出の場
  - ・市場ニーズの把握と開発・商品化のための交流・展示拠点 など

#### 公民連携のまちづくり

- まちの魅力の向上、効率的な運営管理をめざした公民連携による一体的なまちづくり
  - ・公民協働による水・緑の景の創出や広場の空間形成
  - ・公民連携によるエリアマネジメント組織 など

#### 水と緑あふれる環境づくり

- まちで活動する人々にやすらぎとゆとりを与える水と緑豊かな都市環境の創出
  - ・シンボル軸における立体的な緑の空間と水のネットワークの主軸の形成
  - ・ストーリー性のある水環境の創出
  - ・多様な緑のネットワークに包まれたまちづくり
  - ・賑わい軸における商業施設と一体となった木漏れ日のある緑の空間の創出 など

○東アジア経済圏や関西圏などの国際・広域中枢拠点の形成

○梅田地区の中核として、開発拠点間の連携強化を図り、周辺地域へ開発インパクトを波及  
《「大梅田地区」の形成》



## ②-2 うめきた地域の経過

# 「大阪駅北地区まちづくり基本計画(H16.7)」 (まちの骨格)

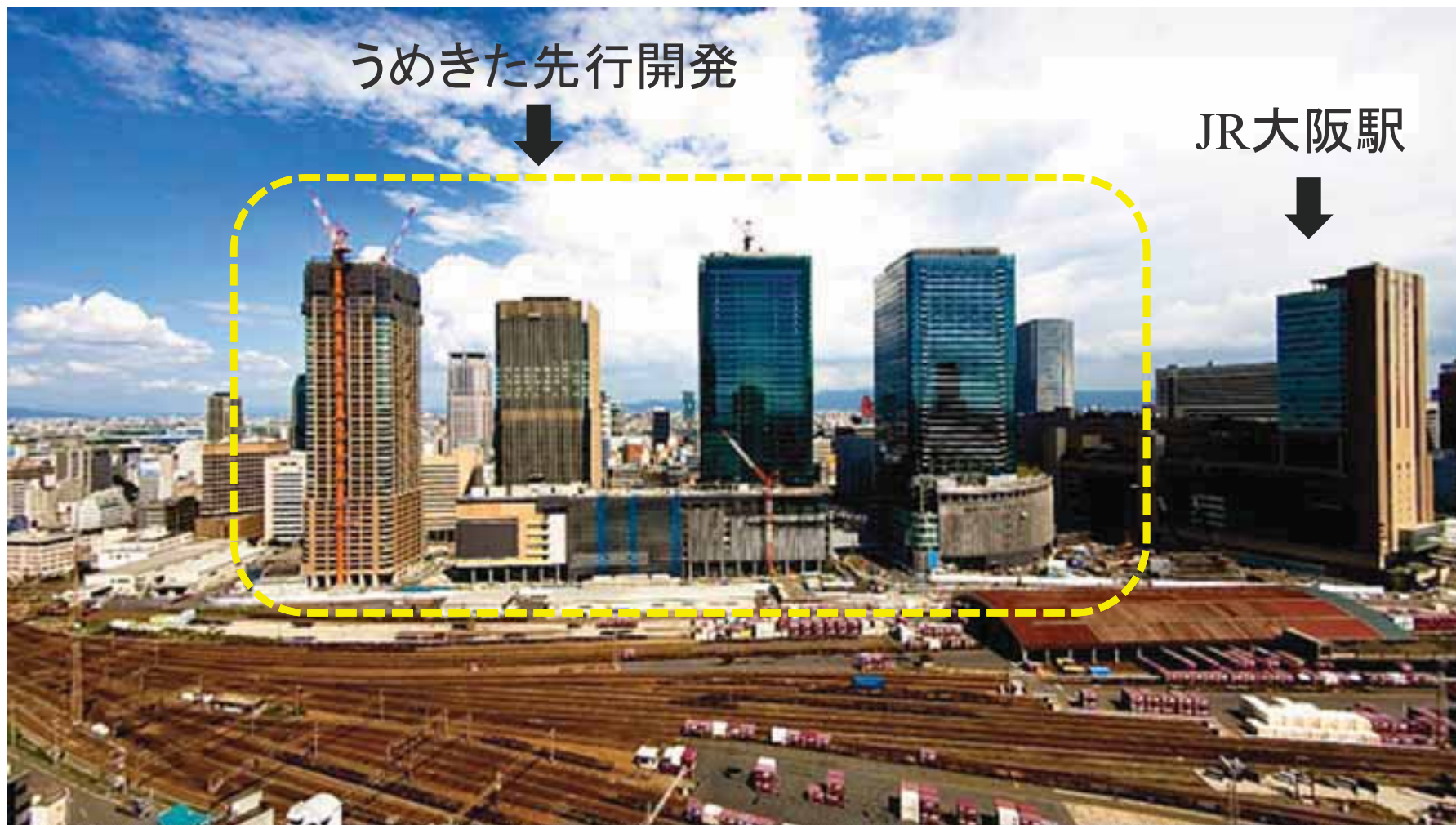


## ②-3 うめきた地域の経過

### 先行開発区域の状況(工事進捗状況)

平成25年春のまちびらきに向けて現在工事中(H24.8.30撮影)

→ 工事進捗率:平成24年8月末時点 約87%





### ③-1 うめきた2期区域について

## 大阪のグランドデザイン(「グランドデザイン大阪(H24.6)」より抜粋)

### ■「グランドデザイン・大阪」が描く都市構造

#### ◆みどりを中心とした都心部の活性化と効果の波及

- 都心部を水とみどりあふれる人中心のまちへと変革し、企業活動や暮らしを充実するとともに、みどりの軸を郊外部へと伸ばし、周辺山系へとつなげます。

### ■エリア設定の考え方

#### ○広域的視点に立ったエリア設定

- ・これまでの都市拠点の開発という視点ではなく、大都市圏の広域的な視点から都心部の象徴的エリアを設定

#### ○民間や地域のポテンシャルを活用

- ・民間開発を単発に終わらせず、地域ポテンシャルを最大限に活用

#### ○みどりの軸を活かした都市構造へ

- ・都心部を中心に東西南北方向の都市軸を設定みどりでつなぐ軸線として府域へ拡大

#### 大阪らしいポテンシャルとストックを持つ象徴的なエリア



## 大阪のグランドデザイン(「グランドデザイン大阪(H24.6)」より抜粋)

### ◇うめきた2期開発について

#### 2期区域整備の基本的な考え方

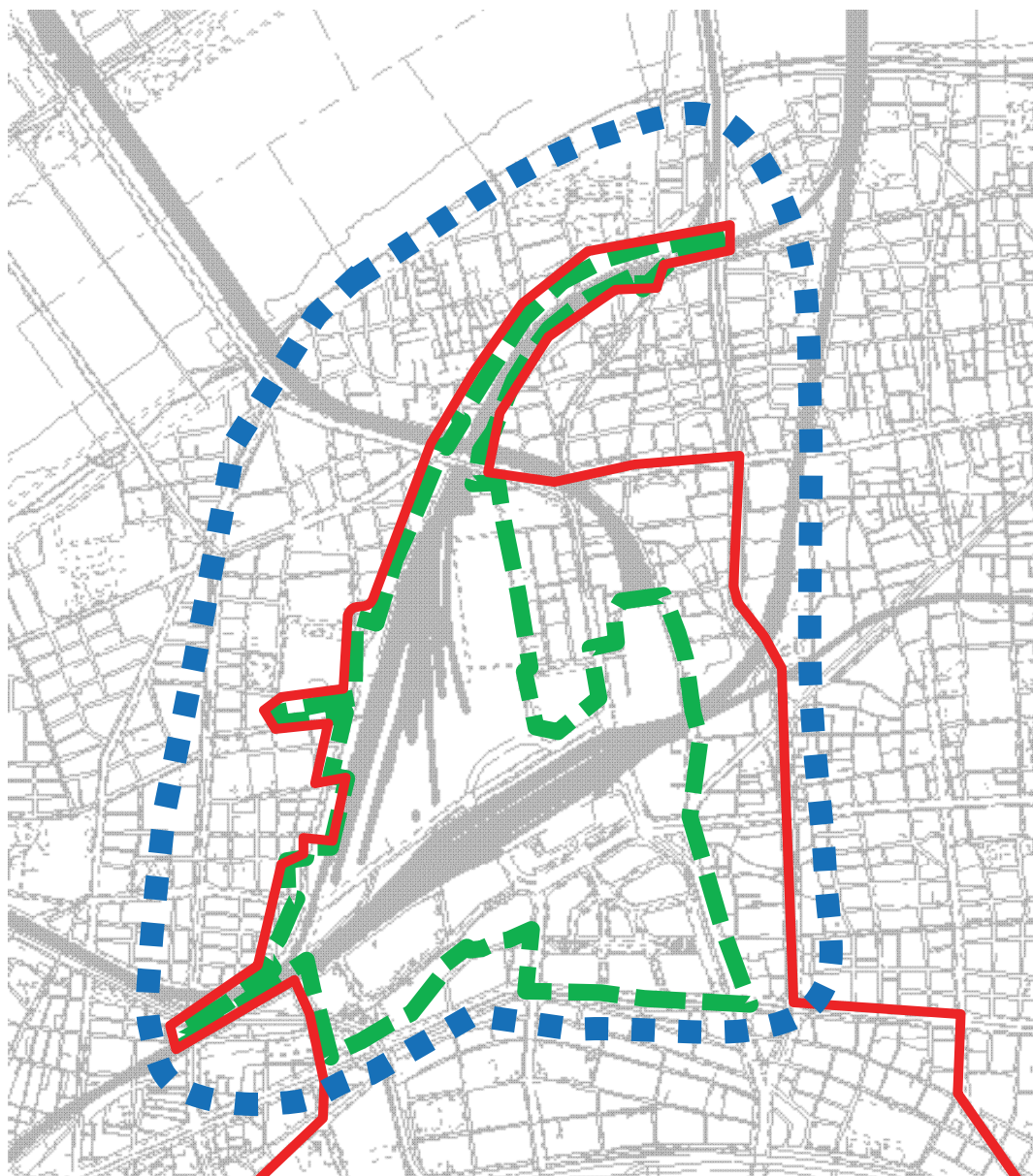
- ◆大規模な「みどり」の空間を確保
- ◆「みどり」を維持管理するために必要な官民連携の仕組みを構築
- ◆「みどり」を有効に発揮させるための都市機能の導入や、広域的視点に立った都市基盤の整備について検討

#### 「みどり」の効果

##### みどりによるシンボル空間形成、都市格の向上




- ◆周辺土地利用の転換・高度利用の誘導（地域全体の資産価値の向上）
- ◆大規模地震等の災害時における避難地の確保
- ◆ヒートアイランドの緩和などの都市環境改善への貢献

## 2期区域の検討について



### 検討にあたっての視点

- ・効果的な「みどり」のあり方
- ・周辺への波及効果

- |   |              |
|---|--------------|
|  | 検討対象エリア      |
|  | 都市再生緊急整備地域   |
|  | 特定都市再生緊急整備地域 |